

多くの子供に自らの意志で移動する喜びを

BabyLoco

参考出品



※上部の座位保持装置は変更可能です。
イメージはPON・PA(株式会社 アシスト)搭載です。

諸元・仕様(予定)

全長・全幅・全高	610mm・510mm・145mm(ベースのみ)
重量	5kg
車輪径	駆動輪120mm
段差乗越え高さ	5mm
バッテリー	鉛バッテリー 12V 2.3AH
充電器	充電時間2.5H 100-240VAC 60/50Hz DC13.8V 出力電流1A
搭載最大体重 ※積載物含む	60kg

☆開発の経緯☆

「BabyLoco」はびわこ学園医療福祉センター草津と滋賀県立大学が 共同で立ち上げたKids Loco Projectの研究成果をモデルに開発しました。

びわこ学園が実践している「歩行に困難を抱える子どもたちが“動くこと”の楽しさを知り、自分ができることを知り、自分に自信を持つことで実現出来るモチベーションの高いリハビリテーション」に私たちは共感しております。



こどもの成長過程

赤ちゃんはズリバイ→ハイハイ→つかまり立ち→歩行と移動手段を身に付けながら成長発達していきます。

一方、0～9歳の電動車いす支給対象である身体障害者等級1・2級の子どもは約22000人います※。

自発的な移動手段として電動車いすが考えられますが、低年齢の児童・幼児には、大きくて重く、速度が速い既存の電動車いすはとても危険です。

「BabyLoco」は子どもが安心して乗れるように次の特長を持っています。

- ◎柔らかい外装バンパー、丸い形状、低速走行により、障害物に衝突した時の衝撃が少ない。
- ◎電動車いすと同じジョイスティックや押ボタンスイッチなどの多様な入力装置が使える。
- ◎市販の座位保持椅子/装置に乗ったまま電動走行が可能である。
- ◎高額な電動車いすと比べて、非常に安価に導入が可能である。

現在、各務原市の療育機関である福祉の里たんぽぽとKids Loco Projectで試作機評価を行っています。

※平成28年度生活のしづらさなどに関する調査（全国在宅障害児・者実態調査）結果 厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部

☆開発の体制☆

